

寄稿

若年女性を取り巻く現状について

NPO 法人 BOND プロジェクト 代表 橋ジュン

NPO 法人 BOND プロジェクトは10代、20代の生きづらさを抱えている女の子たちの支援を2009年から活動しています。女の子たちの声を伝えるフリーペーパー「VOICES」マガジンの発行及びインターネットでの情報発信事業、講演会事業、青少年を保護し、精神的ケアを行う保護事業、就労支援、回復支援など29名で行っています。元々、私は取材活動として設立以前から、街にいる若年女性に声をかけ、話を聞いたり、家に帰れない女の子を自宅に泊めるなどしていました。

女の子たちと関わる中で、彼女たちの背景には家庭問題や虐待、暴力、家出や見えづらい貧困など様々な困難があることを知って、女の子と支援者を繋ぐ役割を果たしたいという思いで設立しました。待っているだけではなく、動く相談窓口として困難な状況にいる女の子たちのために日々動いています。悩んでいても相談窓口繋がっていない女の子を見つ

けるため、街頭パトロールやネットパトロールをしています。

家庭に居場所がないと感じている子や、虐待、DV 被害を受けている子が、今の状況や環境がしんどくて逃げたいと思った時に、きちんとした大人や場所に相談できればいいのですが、相談先を知らなかったり、相談した内容を親に知られるのが怖くて出来ないという子もいます。「家はもう無理！」って思った時、衝動的に SNS を利用したり、街で声をかけられた人について行ってしまいう子もいるのです。SNS 上では「家出少女」「誰か泊めて」などの言葉を書き込むと、すぐに「泊まっていいよ」「迎えに行っておけるよ」「交通費出しますよ」「いつまでもいいよ」という内容の返信が届きます。行き場もなく、困っている女の子の中にはきちんとした大人ではなく、見知らぬ人に頼ってしまう子もいるのです。もちろん、危険だということはわかって

いても、今すぐ助けてもらえそう、つらい状況を変えてくれるかもしれないと思って、繋がってしまう。しかし、まともな大人から守られていないという状況を相手に知られてしまい、性的搾取などの被害にも遭いやすくなってしまったり、犯罪に巻き込まれるなどのリスクなども高くなってしまいます。

ネットパトロールのきっかけは2017年に起きた神奈川県座間市の9遺体殺人事件でした。SNS に自殺願望を書き込んだ心の弱っている人々を狙った犯行によるもので、「死にたい」といった声は、今もネット上に投稿されています。ネットや SNS は、苦しい気持ちを抱えている人々たちにとって悩みを吐き出すことができる唯一の居場所になっていることがあります。しかし、一方でネットを通じた悪質な犯罪の温床になっています。ネットパトロールでは、支援を必要としながらもネット上で彷徨っている女の子たちが悪意を持った危ない大人よりも先に BOND と繋がって欲しい思いで活動しています。繋がった女の子たちとは実際に会ったり、直接的な支援に結び付ける部分は、コアメンバーがスーパーバイザーとして引き続きで支援に結びつけています。オンライ

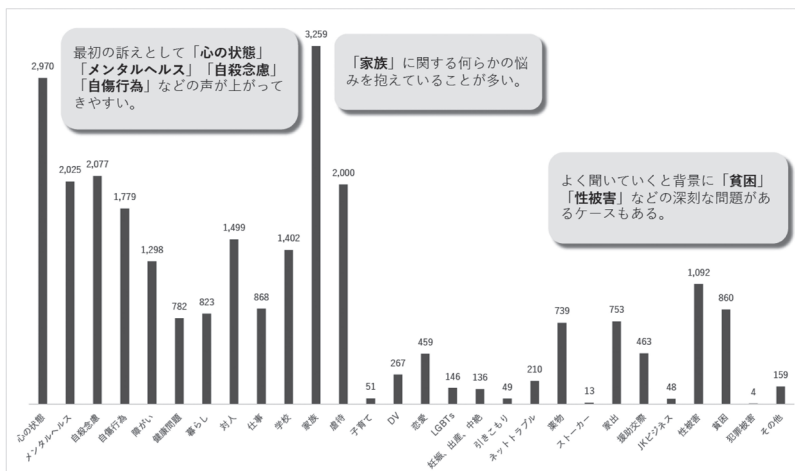
BONDプロジェクトに届いた直近の相談件数

(件)

| 2021年度 | LINE | メール | 電話 | オンライン面談 | 面談 | 保護 | 同行 |
|-----------|-------|-------|-----|---------|-----|-----|----|
| 2021年 4月 | 1,208 | 896 | 141 | 11 | 115 | 89 | 8 |
| 2021年 5月 | 1,598 | 1,038 | 174 | 15 | 115 | 102 | 5 |
| 2021年 6月 | 1,328 | 834 | 175 | 19 | 121 | 116 | 8 |
| 2021年 7月 | 1,304 | 918 | 156 | 8 | 143 | 141 | 5 |
| 2021年 8月 | 1,554 | 988 | 184 | 19 | 147 | 122 | 5 |
| 2021年 9月 | 1,593 | 779 | 158 | 14 | 140 | 124 | 3 |
| 2021年 10月 | 1,984 | 798 | 150 | 15 | 124 | 103 | 1 |
| 2021年 11月 | 2,061 | 811 | 160 | 19 | 131 | 106 | 0 |
| 2021年 12月 | 2,400 | 900 | 151 | 13 | 212 | 107 | 4 |
| 2022年 1月 | 2,211 | 906 | 175 | 17 | 148 | 119 | 5 |
| 2022年 2月 | 2,216 | 815 | 143 | 15 | 126 | 113 | 3 |
| 2022年 3月 | 2,139 | 784 | 142 | 18 | 142 | 120 | 7 |

1

BONDプロジェクトに届いた相談（2021年度 面談、オンライン面談、電話相談より/複数回答）

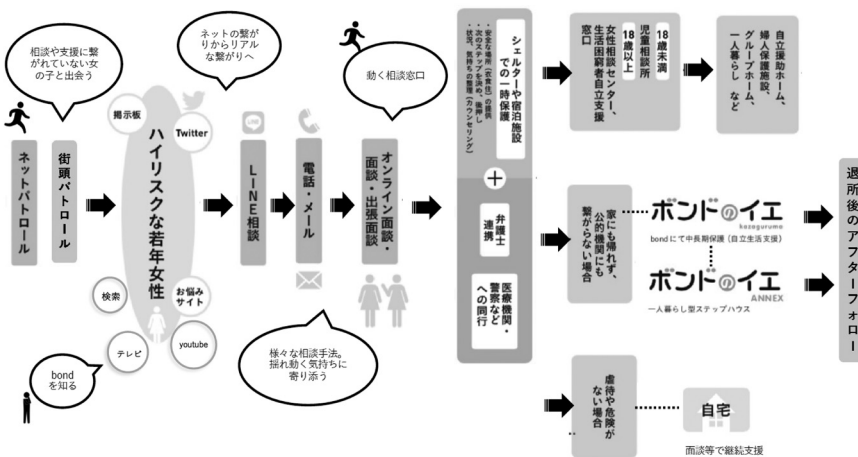


ン上で相談者とつながる役割のメンバーは、相談を受ける女の子たちと同世代が中心となって行っています。支援は今はいらないけれど、寂しい、誰かに聞いてほしいという継続的な相談も多いので、受け止める気持ちを大事にしたいと思っています。

居場所のない支援が必要な女の子たちと繋がり、話を聞いて今後のことを整理したり、自立に向けた計画を立てたりするためには、安全で安心して過ごせる受け皿が必要になるので、シェルターやステップハウスを準備しています。シェル

ターは定員2名の一軒家、ステップハウスは一人暮らしを始める前に練習のようなところで定員1名の部屋などがあります。DVなどで傷を負い、着のみ着のまま逃げた女性たちの中にはすぐに働けない状態でしばらく休養が必要な子もいますし、そこは女の子の状態に合わせて臨機応変に対応をしています。基本、シェルターに入居するのは、学校に行けるか働ける子で、自立を目標にしている子を受け入れています。夕飯はスタッフが作って、面談などをしながら翌朝まで一緒に過ごすという流れで支援していて、ステップハウスは一人暮らしが基本ですが、金銭管理や投葉管理などで見守り支援が必要な子もいるのでその場合は週に1回程度、スタッフが訪問しています。

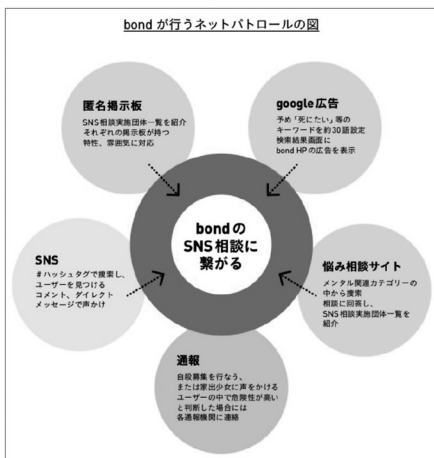
アウトリーチから自立支援まで・BONDプロジェクトの長期にわたる包括的支援



今後の展望ですが、国や自治体の職員と話をする機会があった時に、BONDの活動をする中で出会った女の子達の存在や支援の必要性を伝えたことがありました。その時、そのような存在がいるかも知れないとは思っていたけれど、実際はそんな状況の女性たちの存在を知らなかったと言われたことがありました。私は彼女たちの存在が認知されなければ、対応をすることもできないと思っているので、社会が彼女たちに無関心という状況をなくす必要があると感じたこともあり、女の子たちの声や現状を「伝える」活動を大事に続けています。

BONDの活動の中で出会う女の子達の話を知ると、相談者の個別のニーズに応じた支援やサービスを一緒に考えてくれるようなサービスの不足を感じている人が多いので、選択肢を増やしていけたらいいなと思っています。問題の解決までは至らなくとも、歩み寄りしたい気持ちが相談者に伝われば、何かあった時には話してみようと思っています。

NPO 法人 BOND プロジェクト
<https://bondproject.jp/>



ネット上に漂う声

何をしてもし迷感かける気がする。誰にも迷惑かけたくないのに…。生きていてごめんなさい…。#病み垢 #ごめんなさい #死にたい

死にたい。もう無理。疲れた。なんで私ってこんなにダメなんだろ。もう生きてる価値なんてないよ。こうして書いてる間にも涙が出てくる。辛い。誰も私をわかってくれない。親は信用できない。消えたい。楽になりたい。#死にたい

誰か私を殺してくれる人いない？もう人生に疲れた。もう死にたい。生きてなんかいことあるよ。先生や友達に「生きてたらいことあるよ」って言うんだけど本当かな？いいことあるかな？私は何もなかった。まあもういいや。人生終わらせて。誰か私を殺して下さい。#殺して

助けて下さい 帰る場所がない #家出少女 17歳です

私のことろしてほしいです やってくれる人はDM来てください #ころして #しにたい

学校に行くのが嫌になりました。(前から行ってなかったけど笑) お話聞してくれる方、誰かいませんか？ #不登校 #いじめ #辛い #メンヘラ #行きたくない

